



### 新たな未来へ向け、先端科学技術シンポジウムとKUMP国際シンポジウムを開催



▲(左)「第23回先端科学技術シンポジウム」ポスター展示  
(右)「KUMP国際シンポジウム」東京女子医科大学特任教授 岡野光夫氏の基調講演

1月24日と25日、第23回先端科学技術シンポジウムが千里山キャンパスにて開催された。当日は、「超スマート社会の実現に向けた新技術の潮流」をテーマに、関西大学先端科学技術推進機構の広範な分野にわたる最先端研究の成果を披露。2日間で83件の講演、80件を超えるポスター展示による研究紹介を行い、産業界等から多数の参加があった。

また、併催の関大メディカルポリマー(KUMP)国際シンポジウムでは、関西大学発の革新的材料KUMPを活用した未来医療の創出に向け、国内外の研究者が集結し、最先端の医用工学研究の取り組みや成果を発表した。シンポジウムでは、学生が英語を駆使して研究内容を説明するポスターセッションも行われ、最優秀賞2人と優秀賞4人が選ばれた。

### 梅田キャンパスのスタートアップカフェ大阪が起業家志望の関大生を対象に出張相談会を開始



昨年12月11日と今年1月15日の2日間、梅田キャンパス「KANDAI Me RISE」にあるスタートアップカフェ大阪コーディネーターが千里山キャンパスへ出張し、関大生向け起業相談会を開催した。

スタートアップカフェは起業を志す人を支援する場。梅田キャンパスのスタートアップカフェ大阪では会社員をはじめ、学生や主婦など誰でも無料でコーディネーターに相談することができる。

当日は、起業を目指す学生が相談に訪れ、自身のアイデアをビジネスにするにはどうしたら良いかなど、コーディネーターにマンツーマンで指導を受けた。4月からは月1回のペースで開催する予定。

### 防災教育と国際理解教育を架橋する社会安全学部・近藤准教授ゼミが「ぼうさい甲子園」でぼうさい大賞を受賞!



(写真提供：毎日新聞社)

阪神・淡路大震災の経験と教訓を未来に向かって継承していくため、学校や地域で防災教育やその活動に取り組む児童や生徒、学生を表彰する「1・17防災未来賞『ぼうさい甲子園』」。その表彰式・発表会が1月13日、兵庫県公館にて開催され、全国109校・団体の応募の中から、社会安全学部の近藤誠司准教授ゼミが大学生部門のぼうさい大賞に輝いた。

同ゼミ生たちは、2014年から外国にルーツを持つ児童も通う真陽小学校(神戸市)で、児童と共に防災・減災をテーマにした校内放送向けの番組制作に携わり、17年からは防災版学校便り「ぼうさいタイムズ」を発刊。18年度には同紙を多言語化するなど、外国人家庭も含めた地域住民の防災力向上への工夫を凝らしたことが評価された。

### 日本学生氷上競技選手権大会で 中村優さんが金メダル、女子が団体で優勝の快挙



▲1位に輝いた中村 優さん  
(写真提供：関大スポーツ編集局)

1月4～7日、栃木県立日光霧降アイスアリーナで行われた第91回日本学生氷上競技選手権大会フィギュア競技の男子7・8級クラスにおいて、体育会アイススケート部の中村優さん(政策4)が美しい滑りと洗練されたジャンプを披露した。合計233.40をマークし1位の座に輝くと、同クラスの本田太一さん(経2)も3位の成績を収めた。更に、女子7・8級クラスでは、十倉日和さん(人2)が7位、安原綾菜さん(情4)が8位、森下実咲さん(人1)が10位の成績を収め、同クラス女子団体が優勝を果たした。

また、1月30日～2月2日に北海道・釧路市春採アイスアリーナで行われた第74回国民体育大会冬季大会のフィギュアスケート競技成年男子の部でも、中村さんが合計193.56をマークし見事優勝を成し遂げた。